

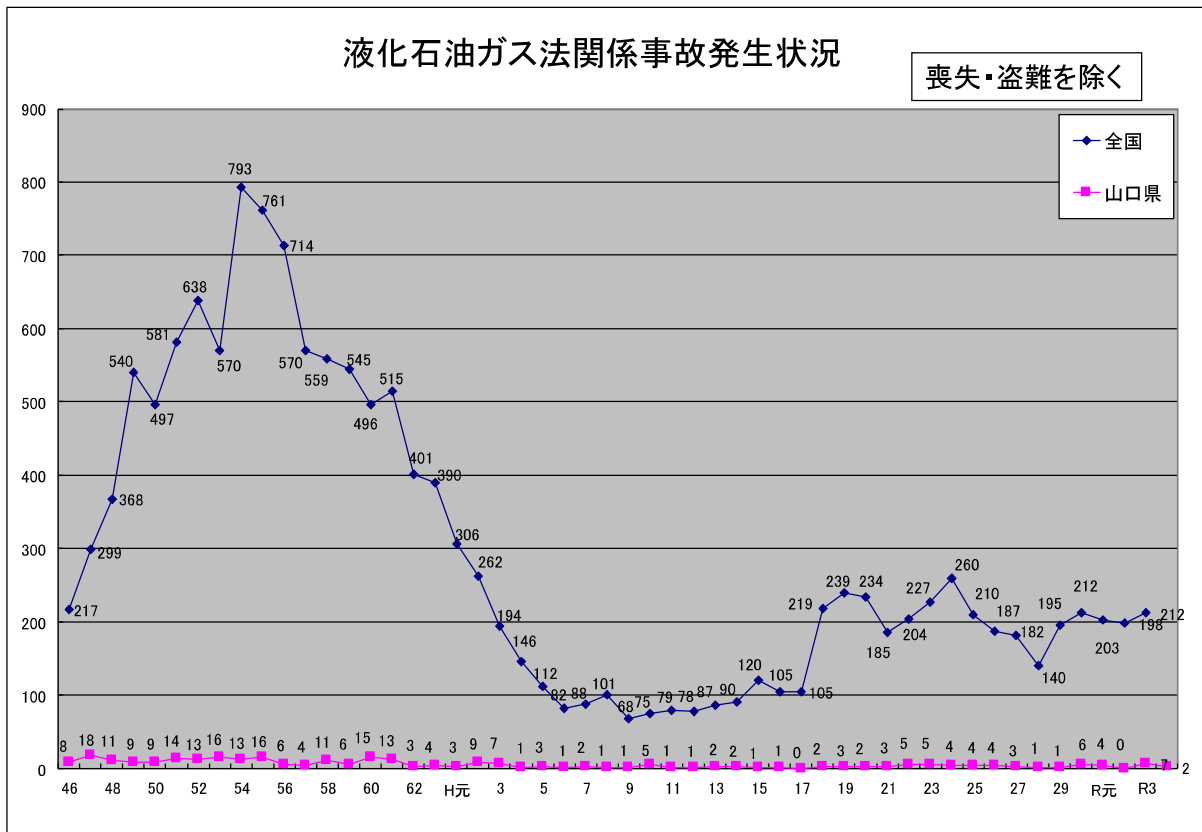
## 令和 4 年 液化石油ガス法関係事故発生状況

喪失・盗難を除く

区分	年	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	R元	R2	R3	R4
漏えい		2	2	3	2	1	1	5	4	0	5	1
漏えい・爆発		1	1	1	0	0	0	1	0	0	1	1
火災		1	1	0	1	0	0	0	0	0	1	0
CO中毒		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
酸欠		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
合 計		4	4	4	3	1	1	6	4	0	7	2

	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	R元	R2	R3	R4
負傷者数	2	1	1	1	0	0	0	0	0	1	1
死者数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0



全 国 : 令和3年12月末現在  
 山口県 : 令和4年12月末現在

【R4 1例目】 LPガス配管の経年腐食劣化による漏えい

発生日時	令和4年(2022年)4月3日(日) 午前11時40分頃
事故概要	<p>病院関係者から「ガス臭いので遮断弁コントローラーで元バルブを閉止した」と販売事業者へ電話連絡があった。販売店担当者が現地に到着したときには、従業員の方がすでに受傷しており、腕と顔にやけどを負われていた。</p> <p>現地調査したところ、<b>白ガス配管の接続部に腐食</b>が見受けられ、閉止していた元バルブを開栓した際、ガスが漏えいすることを確認した。<b>常に厨房の清掃等で水がかかる場所</b>であった。</p>
事故原因	腐食・劣化
防止対策	<p>販売事業者は、<b>水気の影響を受けにくいガスフレキにて当該箇所及び厨房内の同様の箇所の改修工事</b>を実施した。厨房運営委託業者の責任者には、<b>業務用厨房における不具合事例を説明</b>し、従業員の方に周知徹底を依頼。また、販売事業者は社内保安教育を実施し、再発防止に向け水平展開を図った。</p>

【R4 2例目】 一般住宅におけるLPガス漏えい事故

発生日時	令和4年(2022年)4月8日(金) 午後3時頃
事故概要	<p>消費者からLPガス容器の周辺から異音がするとのことで、消防署へ通報。連絡を受けた販売事業者の職員が現地へ到着した際には、消防署職員により容器バルブが閉栓され、ガス漏えいは止まっていた。</p> <p>販売事業者は、確認のため容器バルブを開栓したところ、ガスが漏えいすることを確認。ただし、後日の調査で製品に異常はみられなかった。</p>
事故原因	事故原因は容器と高圧ホースの接続不良(推定)
防止対策	容器交換時等供給設備点検時には、容器と高圧ホースの接続等の確認を徹底する。